

様：落石対策シリーズ 落石シミュレーション Ver1.0 落石防護擁壁の設計 Ver1.0

平成 19 年 10 月記事更新
(株) SIPシステム

落石対策工 セット商品がお得！！

—はじめに—

本商品は、落石対策工シリーズとして「落石シミュレーション」と「落石防護擁壁の設計」の2商品により構成されています。

「落石シミュレーション」では、5種の解析手法より落石のシミュレーション（質点系落石解析手法）を可能とし、落石の運動形態（跳躍運動、線運動、飛行運動、衝突運動、すべり運動、ころがり運動）を計算し、画面上に落石の軌跡線をダイナミックに表示します。

また、「落石防護擁壁の設計」では、コンクリート防護擁壁の安定解析を行い、「転倒」「滑動」「地盤反力」「地盤支持力」の判定を行なう他、「許容回転角」「弾性応答時の地盤の回転変形エネルギー」についても照査を行います。「落石シミュレーション」の計算結果からは、「擁壁断面寸法」「落石特性値」「落石速度」等について「落石防護擁壁の設計」へデータ連動を行い計算が可能です。

弊社「落石対策工シリーズ」のポイントはここ！！

適用基準

- ・ 日本道路協会「落石対策便覧」
- ・ 理工図書「落石対策工設計マニュアル」（勘田益男）
- ・ 落石対策便覧に関する参考資料-調査研究資料
- ・ その他「擁壁工指針」「農道/水路工」「宅地防災マニュアルの解説」

解析手法

〈落石シミュレーション〉

- ① 吉田らの手法（吉田ら,1983）
- ② コロラド州の手法（Barret,1989）
- ③ 古賀らの手法（建設省土木研究所,1989）
- ④ トロント大学の手法（Stevens,1998）
- ⑤ 右城らの手法（右城ら,2000）

〈落石防護擁壁の設計〉

- ① 安定解析「転倒」「滑動」「地盤反力」「地盤支持力」の照査
- ② 「許容回転角」「弾性応答時の地盤の回転変形エネルギー」の照査

計算機能

〈落石シミュレーション〉

落石斜面形状を座標入力、落石防護擁壁およびロックシェッド設置してパラメータの入力を行えば、落石挙動の軌跡線をダイナミックに画面表示。

〈落石防護擁壁の設計〉

落石防護擁壁の基本設計条件は「落石シミュレーション」からデータ連動が可能

印刷機能

シミュレーション試行 No を指定した「軌跡線図」の指定や「停止位置・速度（分布図）」「跳躍量」「跳躍高」「構造物衝突速度（防護堰毎）」の出力
安定計算結果の判定計算書の出力が可能。

< 操作画面の概要 >

落石シミュレーション



落石対策設計システム 落石シミュレーション

ワークエリア | ツールアイコン | コマンドバー | メンテ情報エリア

シミュレーション手法
 吉田らの手法
 コブツ村の手法
 古賀らの手法
 トロノ大木の手法
 北村らの手法

パラメータ	単位	標準値	標準偏差	備考
岩塊の初期位置 X	(m)	3.000	1.000	正値乱数
岩塊の初期位置 Y	(m)	40.000	0.000	正値乱数
岩塊の半径 R	(m)	0.250	0.200	正値乱数
岩塊の密度 ρ	(kg/m ³)	2.600	---	---
境界速度 V _{lim}	(m/s)	6.000	0.000	正値乱数
降着時に発生する降着速度 v _{max}	(m/s)	30.000	0.000	一律乱数
空気抵抗係数 c _d	(1/m)	0.000	---	---
計算時間係数 α _t	(s)	0.010	---	---
計算回数 N	(回)	300	---	---
乱数の乱数種別	(種別)	50000	---	---

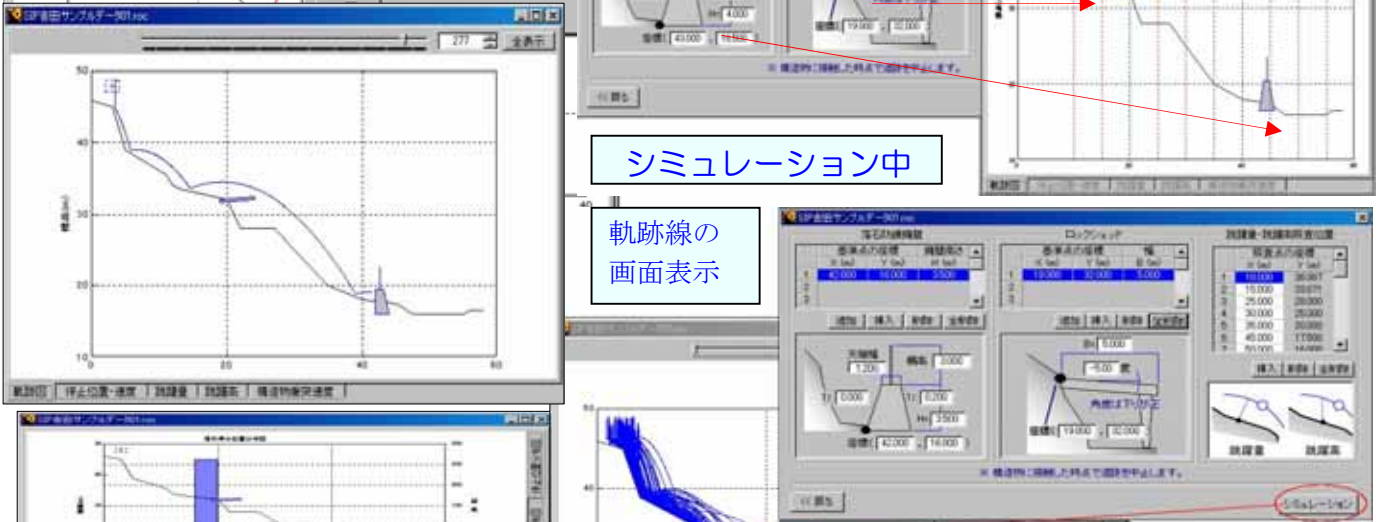
落石斜面の入力設定

斜面の状態

上層	X座標 (m)	Y座標 (m)	すべり摩擦係数		法線方向速度比		接線方向速度比	
			平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
1	0.000	40.000						
2	5.000	36.500	0.700	0.200	0.500	0.250	0.600	0.200
3	8.500	36.000	0.700	0.200	0.500	0.250	0.600	0.200
4	15.000	32.500	0.700	0.200	0.500	0.250	0.600	0.200
5	21.000	30.600						
6	33.000	28.600						
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

シミュレーション中

軌跡線の画面表示



- 計算結果の表示
- 「停止位置・速度」
 - 「跳躍量」
 - 「跳躍高」
 - 「構造物衝突速度」

速度分布

階級	階級幅	階級中心	階級高さ	階級幅	階級中心	階級高さ
1	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
2	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
3	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
4	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
5	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
6	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
7	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
8	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
9	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
10	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
11	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

衝突データ

階級	階級幅	階級中心	階級高さ	階級幅	階級中心	階級高さ
1	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
2	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
3	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
4	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
5	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
6	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
7	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
8	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
9	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
10	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
11	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

落石防護擁壁の設計

入力設定画面

基本データについては「落石シミュレーション」よりデータ連動が可能。

落石条件

落石速度 推定式により算出 シミュレーション結果

落石の質量	m (t)	0.563
落石高さ	H (m)	10.000
衝突点の高さ	h (m)	4.093
斜面勾配	θ (度)	50.00
等価摩擦係数	μ	0.050



落石条件

落石速度 推定式により算出 シミュレーション結果

シミュレーション結果一覧

h: 擁壁下面から衝突点までの高さ

	落石半径 r (m)	質量 m (t)	h (m)	落石速度 V (m/s)
平均	0.347	0.548	5.135	18.318
標準偏差	0.090	0.380	1.111	1.577
最小値	0.163	0.047	3.000	10.319
最大値	0.531	1.633	7.022	21.730
1	0.347	1.000	3.000	15.538
2	0.277	0.231	3.723	18.083
3	0.221	0.118	3.597	19.532
4	0.365	0.531	3.947	13.705

平均値 平均+標準偏差 平均+2×標準偏差

設計に用いる値 m 0.929 (t) h 6.246 (m) V 19.895 (m/s)

標準値データについては「参照」ボタンで確認し適用が可能。地震時の指定も選択するだけでOK。

等価摩擦係数

斜面の種類と等価摩擦係数 μ の値

区分	落石および斜面の特性	設計に用いる μ	実験から得られる μ の範囲	適用
A	硬岩、丸状凹凸小、立木なし	0.05	0.00~0.10	<input type="checkbox"/>
B	軟岩、丸状~角状、凹凸中~大、立木なし	0.15	0.11~0.20	<input type="checkbox"/>
C	土砂・産錐、丸状~角状、凹凸小~中、立木なし	0.25	0.21~0.30	<input type="checkbox"/>
D	産錐・巨礫混じり産錐、角状、凹凸中~大、立木なし~あり	0.35	0.31~	<input type="checkbox"/>

OK Cancel

計算結果の表示

と印刷プレビュー

- 安定計算
- 許容回転角
- 弾性応答時の地盤の回転変形
- エネルギーの照査



落石対策工設計システム 落石シミュレーション

斜面上における落石の挙動を5種類(手法)より落石のシミュレーション解析が可能

価格 ¥157,500-(税込)/HASP(USB)仕様

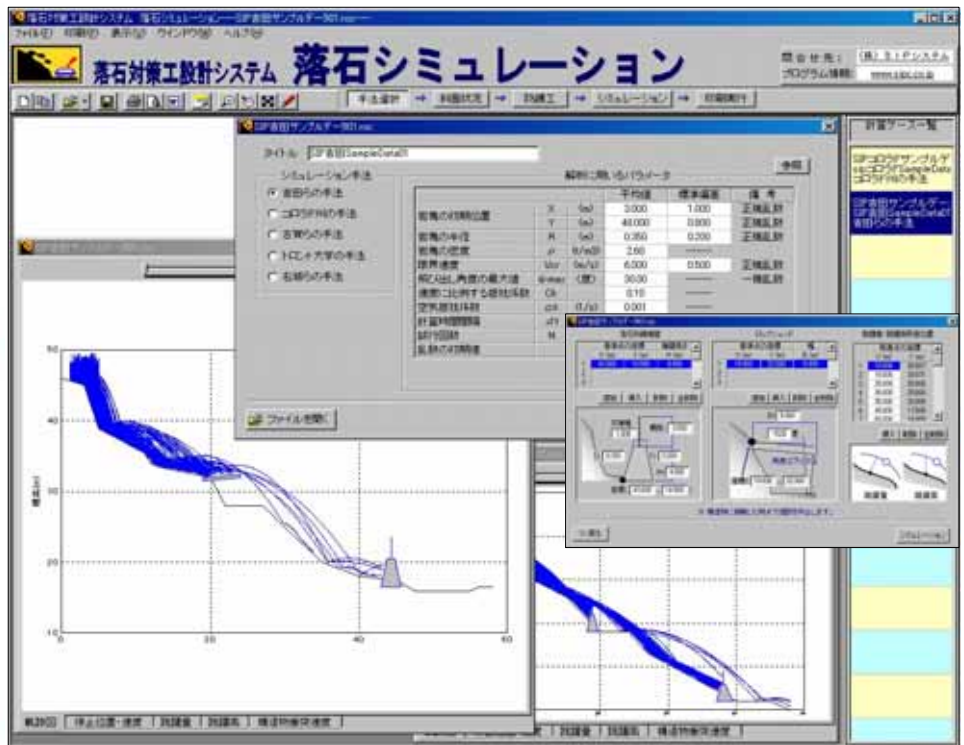
適用基準

- (社) 日本道路協会
 - ・落石対策便覧 (H12/8)
- 参考文献および資料
 - ・落石対策便覧に関する参考資料 調査研究資料 (H14/4)
 - ・落石対策工設計マニュアル / 勘田益男 (理工図書)

解析手法

- 吉田らの手法 (吉田ら,1983)
- コロラド州の手法 (Barret,1989)
- 古賀らの手法 (建設省土木研究所,1989)
- トロント大学の手法 (Stevens,1998)
- 右城らの手法 (右城ら,2000)

システム概要

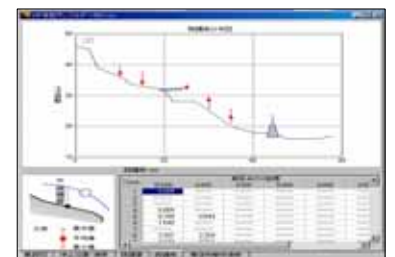


本システムは、5種の解析手法より**落石シミュレーション (質点系落石解析手法)**を可能としています。**落石の運動形態** (跳躍運動、線運動、飛行運動、衝突運動、すべり運動、ころがり運動)については、各手法のパラメータの指定により**落石の挙動を試行回数分繰り返しながら**、画面上に落石の軌跡線を**ダイナミック**に表示します。計算終了後、画面上に軌跡線図、停止位置・速度、跳躍量、跳躍高、構造物衝突速度 (防護壁毎)を表示、計算書出力においては、試行回数Noを指定し個別の軌跡線の出力が可能です。また、計算書は、Wordへの出力変換も可能です。本システムの計算結果および形状データは、「**落石防護擁壁の設計**」へ**連動**が可能です。

主な機能

CONTACT (TEL):06-6125-2232 (FAX):06-6125-2233

1. 各解析手法の**パラメータの入力値 (経験値)**については、参考値をテーブル化していますので画面上で確認が可能です。
2. **落石斜面形状**については、座標値入力を行えば「軌跡図」表示画面上にリアルタイムにスケージング表示されます。
3. **落石防護擁壁** (本体部+フェンス部/最大10基)、**ロックシェッド** (ロックシェッド長+傾斜度/最大10基)を斜面上に任意に設置可能です。
4. **シミュレーション**は、指定された試行回数分演算を行い、順次画面上にダイナミックに**落石挙動の軌跡線を描画**していきます。全ての試行回数を終了後は、全表示や個別に試行Noを指定した画面表示が可能です。
5. シミュレーション終了後は、「**停止位置・速度 (分布図)**」「**跳躍量**」「**跳躍高**」「**構造物衝突速度 (防護堰毎)**」を画面上で確認が可能です。「跳躍量・跳躍高」の計算結果については任意位置の指定も可能です。
6. **計算書の出力**では、施行回数Noを指定した軌跡線図の出力指定が可能な他、画面表示された計算結果、分布図および詳細計算結果の出力指定も可能です。
7. 計算結果は、**プレビュー画面**で確認後、印刷出力が可能な他、**Wordへの変換**出力も可能です。また、「**落石防護擁壁の設計**」へのデータ連動も可能です。



お問合せ

ACCESS (URL) :http://www.sipc.co.jp (Mail) :mail@sipc.co.jp

株式会社SIPシステム

【大阪事務所】〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-18-24-501
(お問合せ先) TEL:06-6125-2232 FAX:06-6125-2233

【本店】〒599-8128 大阪府堺市東区中茶屋77-1-401
TEL:072-237-1474 FAX:072-237-1041

ご案内

・本商品に関するご質問、資料請求、見積依頼等ございましたら、お電話、メール等にて弊社「大阪事務所」までお問合せ下さい。
商品の操作概要等をご確認頂ける「体験版 CD-ROM」を用意しております。
・弊社ホームページよりも商品概要、リーフレット、出力例、体験版プログラムなどのダウンロードを可能としておりますのでご利用下さい。

解析手法とパラメータの設定

斜面形状および斜面特性値の設定

落石防護壁の形状および配置の設定

シミュレーション中(計算中)指定された試行回数分シミュレート

計算結果を画面表

印刷プレビューの詳細設定

試行回数300回全表示

計算結果を画面表示

計算書は印刷プレビュー後、印刷出力/Word 変換も可能

「落石シミュレーション」の結果は「落石防護擁壁の設計」へデータ連動が可能。

- 基本 OS : Windows Me/2000/XP/XP-2/Vista
- ハード環境 : Pentium 4 CPU1.0GMHz 以上/画面解像度 1024×768 以上/HD 容量 100MB 以上
- ドライブ環境 : CD-ROM ドライブ必須/USB ポート必須 (プロテクト HASP 用)





落石対策工設計システム 落石防護擁壁の設計

斜面上における落石防護擁壁の常時・増積時・地震時の安定解析が可能

価格 ¥136,500-(税込)/HASP(USB)仕様

適用基準

○落石適用基準・参考文献

- ・落石対策便覧 (H18/9)
- ・落石対策工設計マニュアル (H14/5)

○擁壁設計基準

- ・土地改良事業計画設計基準・設計「農道」「水路工」
- ・日本道路協会 道路土工「擁壁工指針」
- ・(株)ぎょうせい「宅地防災マニュアルの解説」

対象構造物

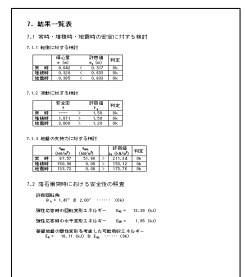
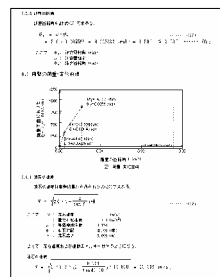
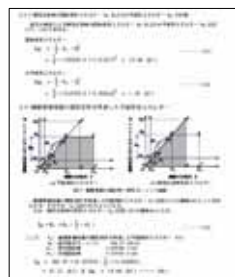
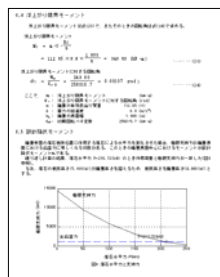
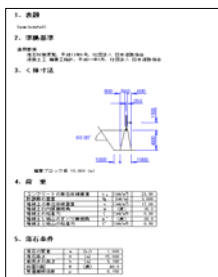
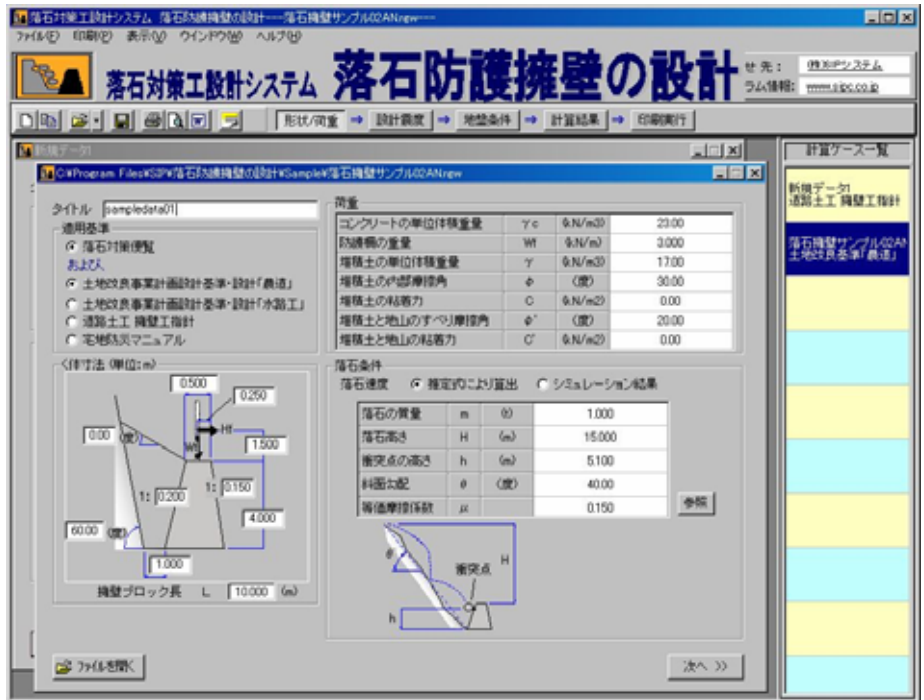
○コンクリート構造防護擁壁

システム概要

本システムは、コンクリート防護擁壁の安定解析を行うシステムです。安定解析は、「転倒」「滑動」「地盤反力」「地盤支持力」の判定の他、「許容回転角」「弾性応答時の地盤の回転変形エネルギー」について照査を行います。

主な機能

1. 安定解析に必要な「擁壁断面寸法」「落石特性値」「落石速度」「落石角度」「落石衝突点高」については、関連商品の「落石シミュレーション」システムからデータ連動も可能です。
2. 等価摩擦係数については「参照」ボタンで標準値の読み込みが可能です。
3. 安定計算の結果は、画面上で確認が可能です。
4. 計算結果の詳細は、プレビュー画面で内容確認後印刷出力が可能です。また、Word への出力も可能です。



お問合せ

ACCESS (URL) : <http://www.sipc.co.jp> (Mail) : mail@sipc.co.jp

株式会社SIPシステム

【大阪事務所】〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 1-18-24-501 (お問合せ先) TEL:06-6125-2232 FAX:06-6125-2233

【本店】〒599-8128 大阪府堺市東区中茶屋 77-1-401 TEL:072-237-1474 FAX:072-237-1041

ご案内

- ・本商品に関するご質問、資料請求、見積依頼等ございましたら、お電話、メール等にて弊社「大阪事務所」までお問合せ下さい。
- ・商品の操作概要等をご確認頂ける「体験版 CD-ROM」を用意しております。
- ・弊社ホームページよりも商品概要、リーフレット、出力例、体験版プログラムなどのダウンロードを可能としておりますのでご利用下さい。

株式会社S I Pシステム

ソフトウェア導入ご検討用資料

平成19年3月版
<Rev.9.2>

1. はじめに
2. システム開発環境
 - 1) 開発言語
 - 2) プロテクト方式
 - 3) ビューアー版起動
 - 4) 製品版CD-ROM
3. バージョンアップとメンテナンス対応
 - 1) バージョンアップ
 - 2) メンテナンス
4. パッケージ商品について
 - 1) 商品形態
 - 2) キーディスク (FD) の補償
 - 3) 商品発送

1. はじめに

この度は、弊社土木設計ソフトウェアをご検討頂き誠に有難うございます。
ご検討に際し、弊社ソフトウェアの開発概要およびメンテナンス対応等につきまして本書にまとめさせて頂きましたので、ソフトウェア導入のご検討用資料としてご活用頂ければ幸いです。

2. システム開発環境

2.1 開発言語

弊社では、現在下記3種類の開発言語を使用しております。

1) 高級言語 Pascal (パスカル) (開発商品Cグループ)

主に水理計算システム/構造計算システム等で利用しています。
構造化プログラミングに優れ、データ構築性のあるオブジェクト指向の強い言語といわれ、MD Iなどの機能を有効的に活用でき統一した商品プログラムの開発が可能です。

・対象商品 (参考) : 水路設計計算システム/管網計算システム

2) 高級言語 Visual Basic/C++ (開発商品Bグループ)

VBは高度なRAD機能を備えているため、ユーザビリティに配慮したユーザーインターフェースの開発を他の開発言語よりも容易に行う事が可能です。また、計算上の処理速度を求められる場合は、処理速度が速いVisual C++での対応開発も行っています。

・対象商品 (参考) : 堤体の安定計算システム/R C・無筋擁壁の設計システム

3) Microsoft 社Excel VBA言語 (開発商品Aグループ)

煩雑な計算部分をマクロ言語の利用より簡素化できるため開発スピード上げることが可能、また出力帳票をExcel上で編集できる等のメリットがありますが、ExcelバージョンやOS環境などに左右されやすく使用制限が発生する場合があります。

・対象商品 (参考) : 旧管路構造計算システム/旧集水桝構造計算システム

2.2 プロテクト方式

弊社「製品版」のプロテクト方式には、下記3タイプがありユーザー様のご希望によりご提供させて頂きます。(キーディスクFD以外は、別途費用が発生します。)

<プロテクト方式>

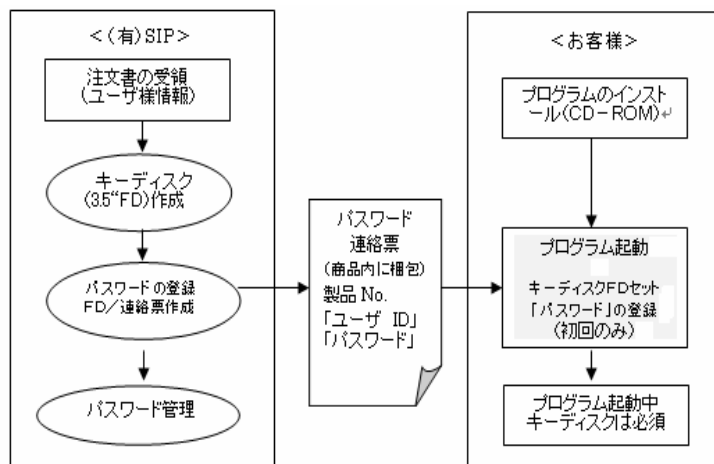
- ① キーディスク (3.5" FD) 方式 (商品価格に含む)
- ② ハードプロテクトHASP (USB) 方式 (別途費用¥10,500-/個)
- ③ ネット認証 (LAN環境で起動) 方式 (別途費用~~¥73,500~~ (¥52,500-) /1Lan 環境)

1) キーディスク (FD) 方式 (商品価格に含む)

キーディスク方式は、3.5" FDにご購入商品の保護情報を登録しご提供する方法です。

初回プログラム起動時に、パスワードを1回登録すれば、以後FDドライブに「キーディスク (FD)」をセットしていればプログラム起動が可能となります。

「キーディスク (FD)」方式の導入から起動までの手順は右図以下ようになります。
1枚の「キーディスク (FD)」に、複数商品の登録も可能です。



2) ハードプロテクトHASP (USB) 方式 (別途費用¥10,500-/個)

HASP(USB)は、右図のような形をしており、ご購入された商品の保護情報が HASP に登録されております。(複数商品の登録も可能です。)

プログラムインストールし、HASP(USB)専用のドライバをインストールされた後、パソコンのUSBポートに挿入すれば、プログラムが起動します。



『HASP(USB)方式のメリット』

1. 「キーディスクFD」方式より、プログラム保護情報を確認する動作が速く **プログラム起動や計算速度が速く、操作性が向上**します。
2. 破損に対する信頼性が高いので、FDのような劣化の心配が無い。

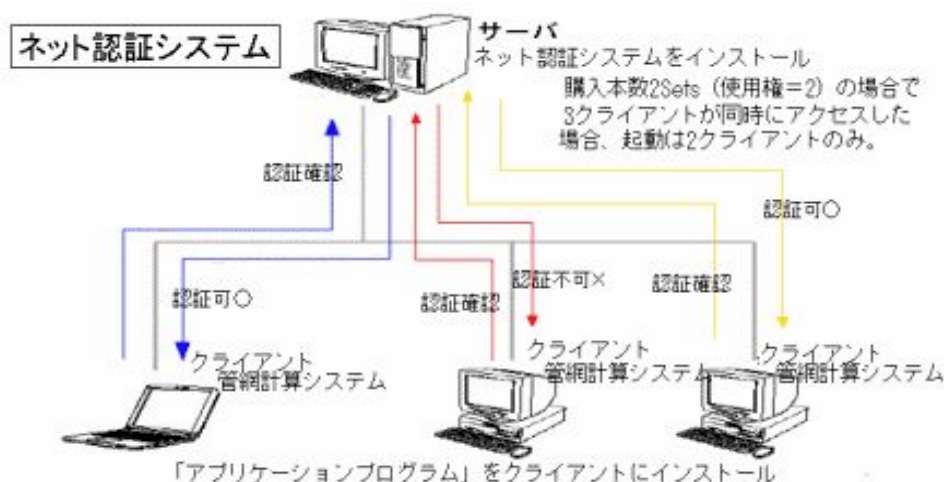
3) ネット認証 (LAN環境で起動) 方式 (別途費用~~¥73,500-~~ (¥52,500-) /1Lan 環境)

ネット認証システムとは、LAN上でサーバとするパソコンに「ネット認証システム」と「ネット認証用HASP (USB)」をセットし、クライアントパソコンに製品版プログラムをインストール (複数可) することで、LAN上のどのクライアントパソコンからも使用権の範囲内で、製品版プログラムの起動が可能なシステムです。サーバパソコン1台、単独の運用も可能です。



ネット認証システムは、ひとつのLAN環境下において1セットの認証プログラムが必要となります。WANには対応していません。

対応OSは、WindowsXP およびWindows2000 となります。



『ネット認証システム導入のメリット』

1. 「キーディスクFD」方式より **プログラム動作が速く信頼性**あります。
2. 複数のパソコンで同一商品をご利用の場合、パソコン間で **プロテクトキーの抜き差し**の必要がありません。
3. 商品プロテクト HASP の個数が6本以上となる場合 **「ネット認証システム」**がお得です。
4. 「ネット認証システム」は、**INメールで「認証コード」の発行**を行いますので、追加商品ご購入の場合「認証コードファイル」を弊社よりメール受信・登録すれば、**即商品の起動が可能**となります。

2.3 ビューアー版起動

プログラムは、「キーディスクFD（またはHASP）」を各ドライブに挿入しておくことで製品版として起動します。

キーディスクをセットせずに起動した場合や使用中でキーディスクをドライブから抜いた場合、プログラムは「ビューアー版」として認識します。

「ビューアー版」の状態では、新規データの作成はできませんが、既に作成されたデータやサンプルデータを読み込んでの計算実行や印刷は可能です。弊社では、この「ビューアー版」でご利用頂ける状態を「体験版」としてしています。

「ビューアー版」の活用方法としては、製品版で作成したデータファイルの読み込みが可能となりますので、例えば：業者間において設計計算書のチェック等で印刷帳票のやり取りが必要な場合、弊社商品プログラムを両社でインストールして頂き、正規版で作成したデータファイルをメール等で送信する事により、正規版を保有されていない場合でも「ビューアー版」として起動し、そのデータファイルを読み込めば計算書の印刷が可能となります。

2.4 製品版CD-ROM

「製品版CD-ROM」およびメンテナンス用の「差替版CD-ROM」には、弊社製品版プログラム、体験版プログラム、操作概要書、リーフレット、出力例、サンプルデータ等の全てが納められています。

製品版プログラムのインストールおよびメンテナンス用アップデートプログラムについては起動メニュー画面の

- ・「製品版のインストール」コーナーより体験版プログラムのインストールについては
- ・「体験版のインストール」コーナーよりインストールを可能としております。



3. バージョンアップとメンテナンス対応

3.1 バージョンアップ

基準書改定やプログラム改定により商品がバージョンアップした場合、弊社HPへその内容の掲載またはバージョンアップ案内をご購入ユーザー様へご案内させていただきます。基本的なバージョンアップ管理は、以下の内容としております。

<メジャーバージョンアップ>

通常 Ver1.0→Ver2.0、Ver2.0→Ver3.0 というような上位桁バージョンが切り替わった場合を指します。主として基準書改訂や、大幅な機能アップを行った場合に行われ、商品価格が改定になる場合や VerUp 費用をご提示させて頂く場合があります。この様な場合、既ユーザー様への VerUp 費用は、新規商品価格の 30%相当、もしくはご購入して頂いた時点の金額と新商品価格との差額分を VerUp 費用として提示させて頂いております。

<マイナーバージョンアップ>

通常 Ver1.0→Ver1.1、Ver1.4→Ver1.6 というような下位桁バージョン番号の切り替えを指します。商品の一部機能アップやプログラム修正を行った場合にマイナーバージョンアップを行っています。本バージョンナンバーでその時点の商品の最新バージョンの確認が可能となります。(例：Ver2.2.2.145)

この場合は、無償差替え（HP/メンテナンスコーナー等で無償提供）の対象となります。

3.2 メンテナンス対応（問合せ）

プログラムの操作等に関するお問合せは、直接メール、お電話またはFAX連絡票にてお問合せをお受けしております。

プログラムの不具合等に関するメンテナンス情報については、弊社より提供されますメンテナンス情報メールサービス、または弊社ホームページのメンテナンスコーナーへご利用前にアクセスして頂ければ、常に最新版のプログラムの入手を可能としております。

また、弊社よりメンテナンス用「差替版プログラムCD-ROM」を送付させて頂く場合もあります。

<弊社HPよりダウンロード>

弊社ホームページからご利用商品の最新版プログラム情報（メンテナンス情報）の入手が可能です。HPアドレス (<http://www.sipc.co.jp>) へアクセスして頂き、ご利用商品のバージョンナンバーとメンテナンスコーナーに記載の最新バージョンナンバーを確認し、古い場合は、最新プログラムへのアップデートが可能となります。

4. パッケージ商品構成について

4.1 納品形態

パッケージ商品には、下記のことをパッケージケース梱包しご提供致します。

- 1) プログラムCD-ROM-----1枚
- 2) キーディスク (3.5" FD) -----1枚 (またはHASP (USB) タイプ：有償)
- 3) 案内書 (納品/送付書) -----1枚
- 4) 案内書 (メンテナンスに関するご案内とお願い) -1枚
- 5) 使用許諾契約書 (ソフトウェア使用許諾契約書) -1枚
- 6) パスワード連絡票-----1枚 (HASP の場合は無し)
- 7) インストールマニュアル (全商品共通) -----1冊
- 8) オペレーションマニュアル (操作概要書) -----1冊

複数本ご購入の場合は、同一パッケージ内にご購入商品のキーディスク・マニュアルが追加同封されます。

4.2 キーディスク (3.5" FD) の補償

プロテクトキーディスク (3.5" FD) につきましては、通常にご利用になる分については破損するケースは殆どありませんが、仮にキーディスクにトラブル (キーを認識しない) が発生しました場合には、以下の対応をさせて頂いております。

<使用許諾書>からの抜粋

第4条 (保証の制限)

- 2) お客様の正常なるご使用において不可抗力により、キーディスク (FD) の破損およびそれに類する具象が発生した場合、本商品ご購入後3ヶ月以内は無償にて再発行させて頂きます。但し、上記事由を含め、ご購入後3ヶ月を越える破損につきましては、有償 (キーディスク作成手数料¥5,000-/1件)、紛失の場合は、販売価格の50%にてご提供させて頂きます。(注：破損の場合は、破損キーディスクとの交換となります。)

4.3 商品発送 (納品) について

ご注文頂きました商品の発送は、原則注文書受領日の翌日宅配便発送としております。

金曜日の発送分は、月曜日到着となります。(地域より異なります。)

お急ぎの場合は、当日発送のご相談に応じておりますので弊社までご連絡下さい。

開発・販売元 :株式会社SIPシステム
大阪事務所(お問合せ先)
〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-18-24-501
TEL:06-6125-2232 FAX:06-6125-2233
本 店
〒599-8128 大阪府堺市東区中茶屋 77-1-401
TEL:072-237-1474 FAX:072-237-1041

ご案内

ご検討頂いております弊社ソフトウェアにつきましては、下記ホームページアドレスより「リーフレット」「出力例」「体験版PRG」等のダウンロードを可能としておりますのでご利用下さい。

<http://www.sipc.co.jp> mail@sipc.co.jp